

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 令和4年7月21日

【発行者名】 フランクリン・템플トン・인베스트먼트・펀즈
(Franklin Templeton Investment Funds)

【代表者の役職氏名】 取締役 ウィリアム・ロックウッド
(Director William Lockwood)

【本店の所在の場所】 ルクセンブルグ大公国、ルクセンブルグL-1246、アルバート・ボル
シェット通り8A
(8A, rue Albert Borschette, L-1246 Luxembourg, Grand Duchy of
Luxembourg)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 三 浦 健
弁護士 大 西 信 治

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所

【事務連絡者氏名】 弁護士 三 浦 健
弁護士 大 西 信 治

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
森・濱田松本法律事務所

【電話番号】 03 (6212) 8316

【届出の対象とした募集（売出）外国投資証券に係る外国投資法人の名称】
フランクリン・템플トン・인베스트먼트・펀즈
－フランクリンK2オルタナティブ・ストラテジーズ・ファンド
(Franklin Templeton Investment Funds
- Franklin K2 Alternative Strategies Fund)

【届出の対象とした募集（売出）外国投資証券の形態及び金額】
記名式無額面投資証券
フランクリン・템플トン・인베스트먼트・펀즈
－フランクリンK2オルタナティブ・ストラテジーズ・ファンド
－クラスA (a c c) 米ドル投資証券
上限見込額は1億2,490万米ドル（約141億9,738万円）である。
(注1) 上限見込額は、便宜上、ファンドのクラスA (a c c) 米ドル投資証券の
2021年10月末日現在の1口当たり純資産価格（12.49米ドル）に1,000万口を
乗じて算出された金額である。
(注2) 米ドルの円貨換算は、特に記載がない限り、2021年10月29日現在の株式会社
三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝113.67円）によ
る。以下同じ。

【縦覧に供する場所】 該当事項なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2021年12月28日に提出した有価証券届出書（2022年2月14日付、2022年3月31日付および2022年7月6日付有価証券届出書の訂正届出書により訂正済。）（以下「原届出書」といいます。）について、2022年6月30日付で投資方針が変更され、ファンド設立地における目論見書が更新されましたので、これに関する記載を訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

なお、下線の部分は訂正部分を示します。

2【訂正の内容】

第二部 ファンド情報

第1 ファンドの状況

2 投資方針

（1）投資方針

<訂正前>

（前略）

フランクリンK2オルタナティブ・ストラテジーズ・ファンド

（中略）

投資方針

ファンドは、複数の非伝統的または「オルタナティブ」な戦略（下記の株式ロング・ショート戦略、レラティブ・バリュエーション戦略、イベント・ドリブン戦略およびグローバル・マクロ戦略の一部またはすべてを含むがこれらに限定されない。）にその純資産を配分することで投資目的を達成することを目指す。

（中略）

- ・ グローバル・マクロ戦略 — グローバル・マクロ戦略は、通常、多数の市場および投資対象にわたるマクロ経済（失業率、国民所得、成長率、GDP、インフレ率および物価等の経済全体の現象）における投資機会に注目する。ロングまたはショート、レラティブ・バリュエーションまたは市場、通貨、金利、コモディティもしくはあらゆるマクロ経済の変動要因の動向に基づき投資する。グローバル・マクロ戦略の例としては、ディスクリーショナル（ファンダメンタルな市場分析および定量的モデリングの組合せにより、異なる資産クラス、市場および投資機会を通じて戦略的に投資を行うことで利益を獲得することを目指す。）およびシステムティックマクロ戦略（投資ポートフォリオを構築するために異なる資産クラスおよび市場を通じて投資機会を見出すために定量的モデルを活用して利益を獲得することを目指す。）が挙げられる。システムティックマクロ戦略には、持続性のある行動的・構造的アノミーを活用するために設計された一定のリスクプレミアム戦略も含まれる可能性があり、これによって典型的な資産クラスと関連しないリターンが提供される。

ファンドは、幅広い環境（E）特性（気候変動、自然資本、汚染および廃棄物）および社会（S）特性（人的資本、製造物責任、ステークホルダー対立）の推進に努める。ESG評価フレームワーク（ファンドのポートフォリオの90%以上に適用される。）は、ポートフォリオ構築を拘束する。

ポートフォリオレベルでは、ファンドはポートフォリオ全体でBBB以上の格付および5.0以上のスコア（MSCIのESGスコアによって測定される。）を達成することを目標とする。BBBの格付は、4.286から5.714のスコア（業種調整後最終企業スコアによる。）に相当する。したがって、5.0のスコアは、BBBの格付の中央値に相当する。MSCIのESG格付手法についての詳細は、<https://www.msci.com/our-solutions/esg-investing/esg-ratings>に記載されている。ただし、以下の場合、ファンドは当該格付および／またはスコアを下回る資産を保有することがある。

- (i) ファンドの格付がB B Bを下回った際に投資運用会社が90日以内に共同投資運用者のそれぞれの資産の一部をリバランスし、ファンドがB B B以上のスコアを達成できるようにする場合
- (ii) ファンドのスコアが5.0を下回った際に投資運用会社が低E S Gスコアの原因となっているポートフォリオ資産を特定し、翌四半期にかけて関連する共同投資運用者との対話を行う場合

時間が経過しても共同投資運用者のスコアが改善しない場合、投資運用会社は、投資主の利益を十分に考慮した上で、当該共同投資運用者の配分を停止する。ファンドのポートフォリオ資産の加重平均基本E S Gスコアは、ファンドの投資ユニバースの平均基本E S Gスコアよりも高い。

共同投資運用者のレベルでは、投資運用会社は、任命された共同投資運用者について、専有のE S G格付手法（共同投資運用者による環境的要因および社会的要因の投資への統合の調査、環境的要因および社会的要因と投資パフォーマンスとの関連性の調査ならびに共同投資運用者の潜在的な開発地域および将来のイニシアチブの評価を含む。）を適用することにより、E S G評価を行う。こうした定性的評価に基づき、投資運用会社は、コンプライアンス遵守、投資統合および推進力の観点から共同投資運用者を格付けする。共同投資運用者のE S G評価は、四半期毎の会合および毎年の訪問による業務デューデリジェンスにおいて監視される。また、投資運用会社は、共同投資運用者の企業レベルでのE S Gとの関連性（UNPRIへの署名状況等）および内部でのE S Gに関する能力を調査する。

（後略）

<訂正後>

（前略）

フランクリンK2オルタナティブ・ストラテジーズ・ファンド

（中略）

投資方針

ファンドは、複数の非伝統的または「オルタナティブ」な戦略（下記の株式ロング・ショート戦略、レラティブ・バリュエーション戦略、イベント・ドリブン戦略およびグローバル・マクロ戦略の一部またはすべてを含むがこれらに限定されない。）にその純資産を配分することで投資目的を達成することを目指す。

（中略）

- ・ **グローバル・マクロ戦略** — グローバル・マクロ戦略は、通常、多数の市場および投資対象にわたるマクロ経済（失業率、国民所得、成長率、GDP、インフレ率および物価等の経済全体の現象）における投資機会に注目する。ロングまたはショート、レラティブ・バリュエーションまたは市場、通貨、金利、コモディティもしくはあらゆるマクロ経済の変動要因の動向に基づき投資する。グローバル・マクロ戦略の例としては、ディスクリッショナリー（ファンダメンタルな市場分析および定量的モデリングの組合せにより、異なる資産クラス、市場および投資機会を通じて戦略的に投資を行うことで利益を獲得することを目指す。）およびシステムティックマクロ戦略（投資ポートフォリオを構築するために異なる資産クラスおよび市場を通じて投資機会を見出すために定量的モデルを活用して利益を獲得することを目指す。）が挙げられる。システムティックマクロ戦略には、持続性のある行動的・構造的アノミーを活用するために設計された一定のリスクプレミアム戦略も含まれる可能性があり、これによって典型的な資産クラスと相関しないリターンが提供される。

これらのオルタナティブな戦略を通して、ファンドは、幅広い環境（E）特性（気候変動、自然資本、汚染および廃棄物）および社会（S）特性（人的資本、製造物責任、ステークホルダー対立）の推進に努める。

ポートフォリオレベルでは、投資運用会社は、各投資戦略の組入保有資産の加重平均MSCI ESGスコアに基づき、ファンドの月次ESGスコアを計算する。ファンドは、投資ユニバースのMSCI ESGスコアの中央値よりも高い加重平均ESGスコア、または5.25のMSCI ESGスコアのいずれか高いスコアを目標とする。投資ユニバースは、現在のMSCI ESGスコアを有するすべての発行体と

定義される。MSCI 帰属 ESG スコアを持たない保有資産は、ファンドまたはその投資ユニバースの ESG スコアには寄与しない。ファンドの ESG スコアが上述の最低 ESG 閾値を下回った場合、投資運用会社は90日以内にポートフォリオのリバランスを行う。MSCI の ESG 格付手法についての詳細は、<https://www.msci.com/our-solutions/esg-investing/esg-ratings>に記載されている。

共同投資運用者のレベルでは、投資運用会社は、任命された共同投資運用者について、専有の ESG 格付手法（共同投資運用者による環境的要因および社会的要因の投資への統合の調査、環境的要因および社会的要因と投資パフォーマンスとの関連性の調査ならびに共同投資運用者の潜在的な開発地域および将来のイニシアチブの評価を含む。）を適用することにより、ESG 評価を行う。こうした定性的評価に基づき、投資運用会社は、コンプライアンス遵守、投資統合および推進力の観点から共同投資運用者を格付けする。共同投資運用者の ESG 評価は、四半期毎の会合および毎年の訪問による業務デューデリジェンスにおいて監視される。また、投資運用会社は、共同投資運用者の企業レベルでの ESG との関連性（UNPRI への署名状況等）および内部での ESG に関する能力を調査する。

（後略）